



心のスイッチの入れ方

私が過去に担任していた子供たちに、よく訊ねられたことがあります。

先生の夢は何だったの？

という問いです。

正直に申し上げますと、私は教員になることが夢だったわけではありません。

プロ野球の選手になることが夢でした。その夢が実現出来ないと悟ったとき、教員免許を持っていたことから、教員の道を選んだのです。

こう答えると、保護者や子供たちから、怪訝（げげん）な表情をされるが多かったものです。

「教員たる者 優柔不断な思いで就く職業ではない」

そう言われることが悔しくて、スイッチを入れて猛烈に勉強した覚えがあります。

学習指導の在り方や生徒指導の留意点、子供を見取るポイントなど、書籍を読んだり先輩に質問したり…。

自分の授業をたくさん参観してもらって意見ももらいました。

子供とたくさん遊び、話もたくさんしました。

保護者と何時間も話し合ったことも数知れず…。

つまるところ、その動機がなんであれ、

「就いた後にどう責任を果たすか？」

「その職に必要な資質と能力をどう磨いていくか？」

が大切であり、私の猛勉強スイッチは、他人の目だったのかもしれない。

私から子供たちに、「今の夢は何？」と訊くこともあります。

すると、「ユーチューバー」、「サッカー選手」「トリマー」など、即答する子がいる反面、

特にない…。

と答える子もいます。

世間では、そう答える子供と接すると、「大丈夫か…?」「夢は早く見付けるべきだ。」と反応してしまいがちですが、私は違う視点で考えます。

「夢を見付けろ」と結論を急かすより、どうすれば「自分の進む道をえがく子」になるかと。

数年前、私は教員の初任者研修で講師を務める機会がありました。

初任者が数か月の教職を経て、理想と現実の違いに気付き始め、悩み多くなる教員にどのように「スイッチ」を入れるか試された感じがします。

その席で私は、「みなさんは、どうして教職の道を選んだのですか？」

と問いました。数人を指名し答えてもらうと、驚くほど同じような回答でした。面接の模範解答のような内容だったのです。

それが本当の理由ですか？ 何だかよく分かりません。私はそういう答えを期待しませんが…。

と、笑って問い返すと、一瞬の静寂の後、ある新任教員が、
「実は、私の実家は〇〇です。それを継ごうか迷いました。継ぎたくはなかったんです…。」
と答えました。すると、会場に笑いが起き、他の教員もそれに続くかのように、本心を語り始めたのです。

その話をみんなで共有した後、私は自分の新卒時代の失敗談や感動したこと、教師冥利に尽きた話題をたくさん話しました。笑いあり、共感ありの楽しい数十分間でした。

その場にいた教員から感想をいただくと、
「今後、なってみたい自分（教員）を想像できました。」
「今の自分に足りないことや、磨きたいスキルが見えてきました。」
といった、今の自分と今後の自分を比較して、かすかな手ごたえと見通しを立てていることが分かりました。

つまり、自分に必要感を感じて、関心ある話題として心のスイッチが入れば、それに没頭もするし夢をえがくこともできると思うのです。

ふと考えると、毎日、学校の先生は心のスイッチを入れようと努力している。

その時の子供の状況を把握して判断し、仕掛け、問い返し、価値付けることを通じて、子供の成長を促しているのです。

その時の自分の立場によって「価値あるもの」は変わります。
虫取りに夢中で、ヒーロー戦隊にはまっている子供に、教師の苦労話を話しても心には届きませんが、話題の振り方によっては、「働くこと」について、考えさせることも可能です。



時には自ら語部（かたりべ）となってたくさんの体験談を子供たちに話し、時には自らその子の鏡となって気付かせ、人の役になっていることを価値付けることで、子供の心のスイッチが入る場合が多々あります。

今日、一学期が終わりました。

この間、渚滑小学校の職員も、保護者の皆様も地域の方々も、多面的な視点で子供たちを観察し、悩みながら教育していたことが、学校評価アンケートから見取ることができました。保護者アンケートの自由記述には、職員の頑張りを認めてくれる言葉が数多くありました。ありがとうございます。

皆さんは、目の前にいる我が子が、数々の壁にもへこたれず、仲間と協力しながら道を切り開いて進んで欲しいと願っているのではないのでしょうか。

時に学校の対応に疑問符が付くこともあろうかと思いますが、そういった声を真摯に受け止め、前に進みます。

私は渚滑小の職員を誇りに思っています。

子供が、自分の進む道を切り拓いていく素地を創っていることに責任を感じながら子供たちを支えます。

今後ともよろしくお願いいたします。



8月の主な行事予定

- 23日（金）二学期始業式
- 27日（火）芸術鑑賞（4～6年）
- 28日（水）夏休み自由研究発表会
- 29日（木）千葉コーチ来校
- 30日（金）児童会